

セリ科の植物で香り高く、カロテンが豊富なセルシー野菜です。
自家菜園を作る時に参考にいただければ幸いです。



1 播種時期と収穫時期

収穫期により、年内どり栽培と越年どり栽培がある。播種期は、年内どりは6月下旬～7月下旬。越年どりは7月中旬～8月上旬

2 品種

年内どり用として紅泉5寸2号、向陽二号、黒田5寸、陽州5号、が品質、形状等に優れている。
越年どり用としては向陽二号、紅王5寸、越冬黒田5寸、陽州5号が越年性、品質に優れている。

3 施肥 施肥例 1a当たり(100m²当たり)

元肥 牛糞堆肥150kg、苦土石灰10kg、燐加安42号4kg、ハイマグB重焼燐3kg
顆粒タイニー10kg (成分量 チッソ0.9kg, リンサン3.0kg、カリ2.5kg)

施肥量は土質、品種、播種期により異なる。越年どりはこれより多めでもよい。

堆肥は前作に投入し、土壌酸度は6.0～6.5を目標。

4 播種

播種量1a当たり 0.6～0.8dl

畦幅50cm前後で1条もしくは2条播き、または15cm前後の鍬巾にばらまきをする。

ニンジンには、乾燥に弱く、覆土を厚くすると発芽が悪い。なるべく雨を待って播種するか、整地直後の乾かないときを利用して播種するのが良い。乾燥している場合は覆度を軽くして鎮圧する。

6 間引き

1回目は本葉3～4枚頃、2回目は本葉4～5枚頃。間引き後の株間は9～12cm位とする。
間引きは、密生している部分を除く。発芽の遅いものや生育の悪いもの、頭部の太いものを除く。

7 追肥

間引き直後にNK化成を畦間に施用する。施肥例 a当たり(100m²当たり)NK化成2号
1回目5kg 2回目3kg (成分量 チッソ1.3kg カリ1.34kg)

間引きの後追肥と土寄せをする。土寄せは肩が外に出ている場合品質や越冬性が低下するので中耕の際根元に軽く行う。

8 病虫害防除

黒葉枯病は干ばつや肥え切れで発生しやすく、軟腐病は高温多湿や害虫の食害による傷口から発生する。害虫ではキアゲハ、ヨトウが発生しやすいので適宜、薬剤散布をする。

参考文献 神奈川県野菜優良種導入指針 県環境保全型農業栽培の手引 神奈川の野菜